

仕 様 書

- 1 工 事 名 厚生センター外壁等補修工事
- 2 工事提供場所 航空自衛隊美保基地
- 3 工事概要 屋上防水、外壁塗装

4 施工条件

- (1) 本工事は、完全週休2日制工事（土日）の試行対象工事である。
- (2) 週休2日の考え方

ア 完全週休2日（土日）とは、対象期間内の全ての週において、原則として土曜日及び日曜日を現場閉所（現場休息）日に指定し、2日以上現場閉所（現場休息）を行ったと認められた状態をいう。ただし、対象期間の日数が7日に満たない週においては、当該週の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所（現場休息）を行ってれば、達成しているとみなす。また、土曜日又は日曜日に現場作業を行うこととされている場合は、受発注者間で協議した上で、当該曜日に代わる曜日を現場閉所日（現場休息日）に指定するものとする。

月単位の週休2日とは、対象期間内における全ての月で 現場閉所（現場休息）日数の割合が28.5%（8日／28日）以上の水準に達する状態をいう。ただし、暦上の土曜日及び日曜日の日数の割合が28.5%に満たない月においては、当該月の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所を行っている状態をいう。

通期の週休2日とは、対象期間において、28.5%（8日／28日）以上の現場閉所（原場休息）を行ったと認められることをいう。

なお、降雪、出水期、猛暑日等による予定外の現場閉所についても、現場閉所日数に含めるものとする。

イ 対象期間は、工事着手日から工事完成日までの期間とするが、そのうち、年末年始6日間及び夏季休暇3日間、工事製作のみの期間、工事全体の一時中止期間、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間はなどは含まない。

ウ 現場閉所日とは、巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、1日を通して現場及び現場事務所が閉所された日をいう。

(3) 現場閉所実績報告書

受注者は、毎月末までに現場閉所実績報告書を作成し、翌月10日までに監督官へ提出するものとする。ただし、工事完成月については、監督官が指定する日までに現場閉所実績報告書を提出するものとする。

(4) 総合工事工程表の作成

受注者は、発注時の設計図書や発注者から明示される事項を踏まえ、総合工事工程表を作成する。

総合工事工程表を作成するに当たっては、当該工事の規模及び難易度、地域の実情、自然条件、工事内容、施工条件等のほか、建設工事に従事する者の週休2日の確保等、火器の条件を適切に考慮する。

ア 健康時に従事する者の休日（週休2日に加え、祝日、年末年始及び夏季休暇）の確保

イ 建設業者が施工に先立って行う労務・資機材の調達、調査・測量、現場事務所の設置等の「施工準備期間」

ウ 施工終了後の自主検査、後片付け、清掃等の「後片付け期間」

エ 降雪、出水期、猛暑日等の作業不能日数

(5) 工事工程の共有

ア 工事において、受注者間で工事工程のクリティカルパスを共有し、工程に影響する事項が

場合には、その事項の処理対応者を明確にするものとする。

イ 円滑な協議を行うため、施工当初において工事工程（特にクリティカルパス）と関連する案件の処理期限（誰がいつまでに処理し、どの作業と関連するのか）について、受発注者で共有するものとする。

ウ 工事工程の共有に当たっては、必要に応じて下請け業者（専門工事業者等の技術者等）を含めるなど、共有する工程が現場実態にあったものとなるよう配慮するものとする。

エ 工程に変更が生じた場合には、その要因と変更後の工事工程について受発注者間で共有すること。また、工程の変更理由が受注者の責によらない場合は、適切に工期の変更を行うものとする。

(6) 現場閉所の達成状況及び精査

対象期間における全ての週において完全週休2日（土日）が達成できていない又は月単位の週休2日が達成できていない場合は、補正した労務費（公共工事設計労務単価、電気通信技術者、電気通信技術員及び機械設備据付工）、現場管理費及び市場単価等を請負代金額の変更により減額するものとする。

(7) 作業時間

本工事の作業時間は、標準仕様書及び現場説明書によるほか、作業期間中の土曜日、日曜日祝日、夏季休暇及び年末年始休暇を作業不能日として見込むほか、猛暑による作業不能日数を以下のとおり見込んでいる。

猛暑による作業不能日数：8日間

なお、工期中に発生した猛暑による作業不能日数（現場作業時間において、環境省が公表する中国地方鳥取県境地点におけるWBGT値（気温、湿度、日射・輻射を考慮した暑さ指数）又は、実際に現場にて計測するWBGT値が31以上となり、かつ受注者が契約工事単価で全作業を中断し、又は現場を閉所した時間を算定し、日数に換算したもの（小数点以下第一位を四捨五入する。））が上記の日数から著しく乖離し、予定された工期で工事を完了することが困難と認められる場合は、工期延長を含めた変更契約について監督官と協議するものとする。

5 一般仕様

(1) 本工事は、国土交通省大臣官房官庁営繕部「公共建築工事標準仕様書（建築編）」によるほか図面及び特記仕様書により、監督官と調整の上、実施するものとする。

(2) 契約相手方は、官側から貸与された設計図書等を当該工事関係者以外に貸出し、複製又は閲覧させてはならない。また、工事完成後速やかに返納すること。

(3) 図面及び特記仕様書に明記なき事項といえども、技術上又は取り合わせ上当然実施すべき事項は、監督官と協議の上、請負者の負担において実施するものとする。

(4) 現場におさまり、取り合わせ等の関係で材料の寸法、取付位置、又は工法を多少変え、あるいは、これらによって取付数量を幾分増減する等の軽微な変更は監督官の指示によって行うものとする。この場合における履行期間の延長はしないものとする

(5) 契約相手方の過失により既設建物等に損傷を与えた場合は、契約相手方の責任において速やかに原型に復旧するものとする。

(6) 本工事における資材等は、全て請負者の負担とする。また、資材等の使用にあたっては、強度や耐久性、機能の確保等に留意しつつ、環境負荷低減を考慮するものとする。

(7) 工事に必要な書類は、監督官の指示した期日までに提出するものとする。

(8) 契約相手方は、基地内で工事を行う場合、基地への立入り及び基地内での行動は当該基地の規則に従い、指定した場所以外に許可なく立入りしてはならない。また、工事現場においては常に資材等の整理整頓を行い、事故防止に十分注意をするものとし、必要に応じて標識、表示等により、安全対策を講じるものとする。

工事件名	#350建物外壁等補修工事	番号	1/10
航空自衛隊美保基地		作成年月日	令和8年7月2日

- (9) 工事写真は、各工程ごと及び監督官の指示する現場を撮影し、カラーで製本し電子データを整理して、1部提出するものとする。
- (10) 入札業者においては、情報保全の観点から以下の項目に該当する者は工事関係者として施設の立ち入りは認めないものとする。
- ア 発注者との契約に違反する行為を求められた場合に、これを拒む権利を実効性をもって法的に保障されない国又は地域に該当する者
- イ 国連安保理決議において労働許可を提供しないことが決定されている国又は地域に該当する者

5 工事概数量

(1) 建築工事

工 種	種目・規格	数量	単位	備 考
仮設工事	養生（屋上防水改修） （アスファルト防水）	788.0	m ²	
	整理清掃後片付け（屋上防水改修） （アスファルト防水）	788.0	m ²	
	養生（屋上防水改修） （シート防水）	17.7	m ²	
	整理清掃後片付け（屋上防水改修） （シート防水）	17.7	m ²	
	墨出し（外壁改修）	437.0	m ²	
	養生（外壁改修）	284.0	m ²	
	整理清掃後片付け（外壁改修）	284.0	m ²	
	枠組み本足場（手すり先行方式） 900枠	633.0	m ²	
	安全手すり	139.0	m	
	災害防止（シート・ネット類）	633.0	m ²	
	仮設材運搬（枠組本足場）	633.0	m ²	
	仮設材運搬（安全手すり）	139.0	m ²	
	仮設材運搬（シート・ネット類）	633.0	m ²	
	壁タイル撤去	7.5	m ²	
撤去工事	既存防水層撤去（シート防水層）	29.0	m ²	
	シーリング撤去	566.0	m	
	ドレン撤去	14.0	箇所	
防水工事	既存防水層清掃（高圧洗浄）	1120.0	m ²	
	下地調整（コンクリート面）	314.0	m ²	
	アスファルトシングル改修 （かぶせ工法）	23.8	m ²	
	高分子ルーフィングシート防水 （S-M2工法）	817.0	m ²	
	防水押え金物取付	178.0	m	
	ウレタンゴム系塗膜防水 （X-2工法）	314.0	m ²	
	シーリング充填	214.0	m	
	誘発目地充填	352.0	m	
	ドレン取付	14.0	箇所	
タイル工事	外装壁タイル（密着張り、平物）	7.5	m ²	

工 種	種目・規格	数量	単位	備 考
塗装工事	既存塗膜除去 高圧水洗浄（30～50Mpa）	541.0	m ²	
	既存塗膜除去 （コンクリート面、RB種）	541.0	m ²	
	下地調整 （コンクリート面、RB種）	541.0	m ²	
	下地調整 （鉄鋼面、RB種）	3.9	m ²	
	複層塗材E（凹凸状）	541.0	m ²	
	錆止め塗料リ（C種）	3.9	m ²	
	耐候性塗料塗り（DP）	3.9	m ²	
	たてどい塗装	65.8	m	

(2) 発生材処理

工 種	種目・規格	数量	単位	備 考
発生材処分	産業廃棄物運搬 （廃プラスチック）	1.0	式	
	産業廃棄物運搬（がれき類）	1.0	式	
	産業廃棄物運搬（除去塗膜）	1.0	式	
	産業廃棄物処分 （廃プラスチック）	1.0	式	
	産業廃棄物処分（がれき類）	1.0	式	
	産業廃棄物処分（除去塗膜）	1.0	式	

6 工事仕様

(1) 共通

- ア 使用資材の規格については、本仕様書に記載されたもの又は同等品以上を使用するものとし、入札前までに契約担当官に対し、同等品申請書及び規格が分かる資料を提出し承認を得るものとする。
- イ 使用資材は、指定する場合を除き全てを新品とし現場搬入時に監督官の検査を受け、合格したものを使用するものとする。
- ウ 各種仕上げの塗装は塗装色を基準とする。これによりがたい場合については、監督官と協議するものとする。
- エ 発生材は、種別ごとに整理し金属類等は、監督官の指定する場所に整理集積した後に、発生材調書により監督官に引き渡すものとする。
- オ 発生材処理を要するものは、産業廃棄物として適正に処理するものとし、紙のマニフェストB2票、D票、E票のコピー又は電子マニフェストを履行期限内に提出するものとする。
- カ 当該工事において必要な各種書類等の作成及び手続きは、請契約相手方が行なうものとする。

工事件名	#350建物外壁等補修工事	番号	2/10
航空自衛隊美保基地		作成年月日	令和8年7月2日

(2) 建築工事

ア 仮設工事

(ア) 外部足場

外部足場は「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づき、足場の組立、解体、変更の作業時及び使用時には、常時、全ての作業床について手すり、中棧及び巾木の機能を有するものを設置するものとする。また、作業員の転落及び転倒、工具及び資材等が落下しないように安全対策を十分に実施し、強風対策にも万全を期するものとする

(イ) 養生

養生は、既存部分及び固定された備品等に行ない、損傷又は汚損するおそれがある場合はビニルシート等で養生を行なうものとする。

イ 撤去工事

既設ドレン撤去は、必要に応じ、周囲はつり、下地補修を行なうものとする。

ウ 防水工事

(ア) 防水層（平場）は高圧水洗浄後、既設のアスファルト防水層の上から合成高分子ルーフィングシート防水材張り（S-M2工法）とする

(イ) パラペット及び基礎等の立ち上り部は、高圧水洗浄後、押え金物（シーリング含む）を撤去、下地調整を行ない、合成高分子ルーフィングシート防水材張り（S-M2工法）押え金物（シーリング含む）取り付けるものとする。

(ウ) パラペット、庇及び基礎等の天端、見上げ面及び側面は、高圧水洗浄後、下地調整を行い、ウレタンゴム系塗膜防水（X-2密着工法）とし仕上塗料塗りの色は日本塗料工業発刊塗料用標準色 ポケット版 2005C版 35-50Hを基準とし監督官の承認を得るものとする。

エ 塗装工事

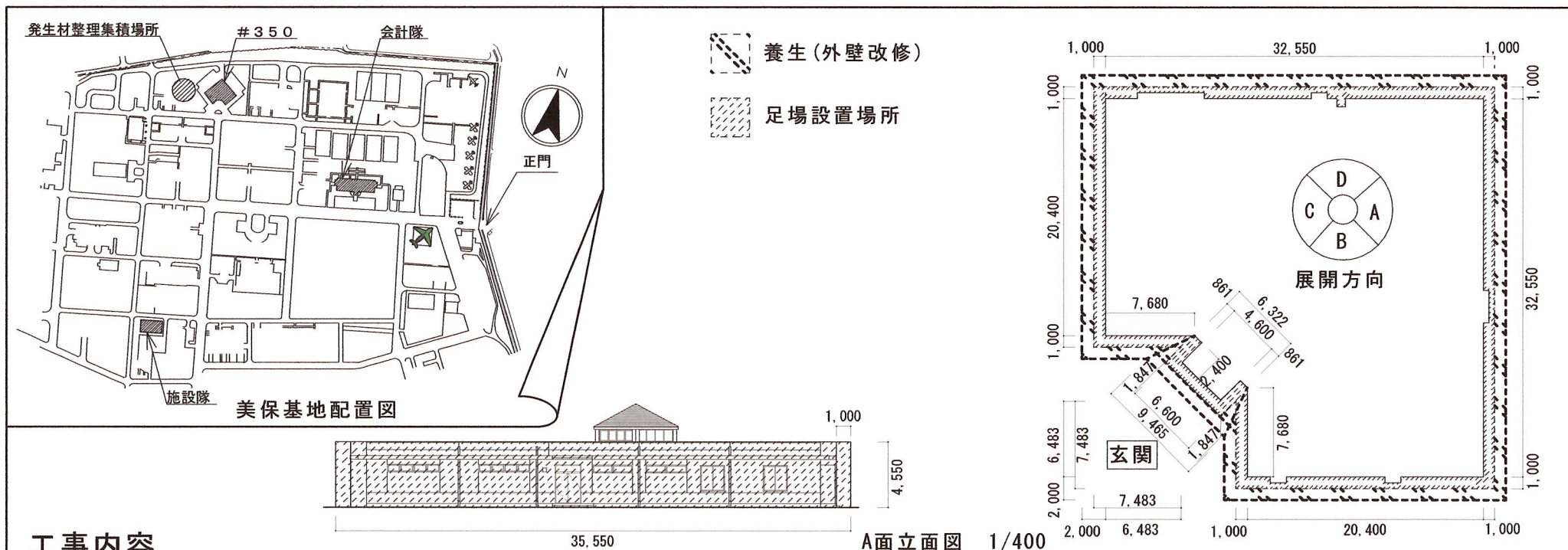
(ア) 色については、日本塗料工業発刊塗料用標準色 ポケット版 2005C版 35-50H版を基準とし監督官の承認を得るものとする。

(イ) 外壁モルタル及び庇側面部は、高圧水洗で汚れ及び付着物を除去後、合成樹脂エマルジョン系下地調整塗材E塗りをした後、複層塗材E塗りをするものとする。

(ウ) 鉄部等の下地調整は、RB種を施し、一般錆止めペイント（B種）を2回塗りの後、合成樹脂調合ペイント（B種）を2回塗りするものとする。

以 上

工事件名	#350建物外壁等補修工事	番号	3/10
航空自衛隊美保基地		作成年月日 令和8年7月2日	

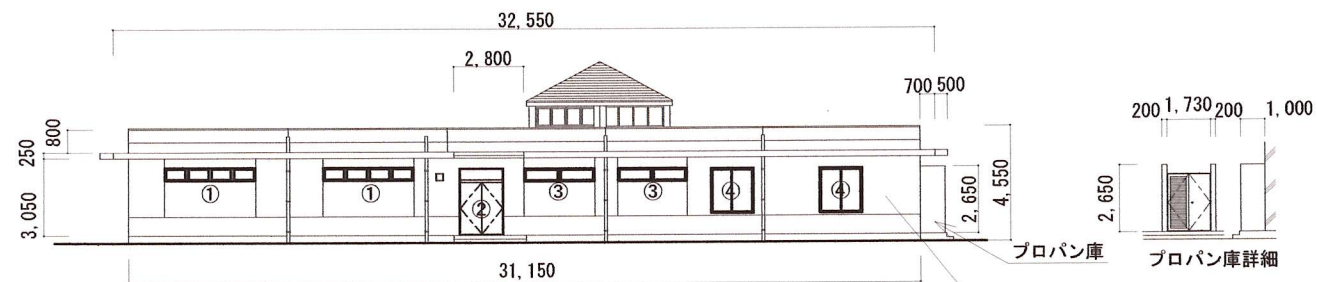


工事内容

箇所	防水層 (平場)	防水層 (立上り部)	防水層 (玄関部)	笠木・基礎 (ハト小屋等) 部	屋根
既設仕様	アスファルト露出防水 (D-2)	アスファルト露出防水 (D-2)	合成高分子系ルーフing 防水	モルタルこて仕上げ	アスファルトシングル葺き
補修内容	既存防水層清掃 (高圧洗浄) ドレン撤去 高分子ルーフingシート防水 (S-M2) ドレン取付	既存防水層撤去 防水押さえアングル撤去 既存防水層清掃 (高圧洗浄) 高分子ルーフingシート防水 (S-M2) 防水押さえ金物取付 シーリング充填	既存防水層撤去 ドレン・アングル撤去 既存防水層清掃 (高圧洗浄) 高分子ルーフingシート防水 (S-M2) 防水押さえ金物取付 シーリング充填 ドレン取付	既存防水層清掃 (高圧洗浄) ウレタン系塗膜防水 (X-2工法)	既存防水層清掃 (高圧洗浄) ウレタン系塗膜防水 (X-2工法)
箇所	外壁	玄関外壁	プロパン庫 扉	たてどい	
既設仕様	B種 吹付タイル	二丁掛タイル張り	SOP塗り	硬質塩化ビニール管	
補修内容	シーリング撤去 既存塗膜除去 下地処理・下地調整 誘発目地材充填 複層塗材E	壁タイル撤去 壁モルタル塗り 二丁掛タイル張り	既存塗膜除去 下地調整 錆止め塗料塗り (C種) 耐候性塗料塗り (B種)	既存塗膜除去 下地調整 耐候性塗料塗り	

平面図 1/500

工事件名	#350建物外壁等補修工事	番号	4/10
航空自衛隊美保基地		作成年月日 令和8年7月2日	



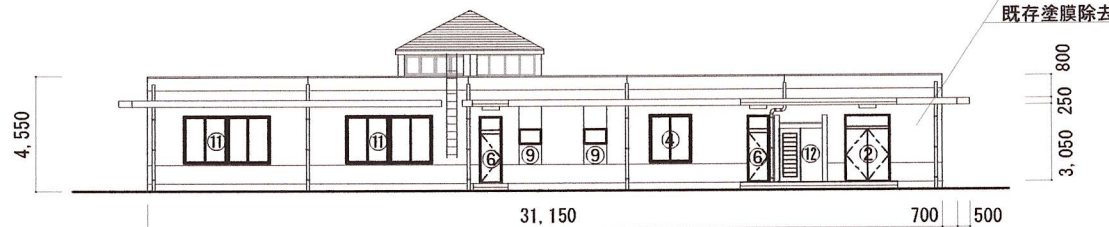
A面立面図 1/300



B面立面図 1/300



C面立面図 1/300

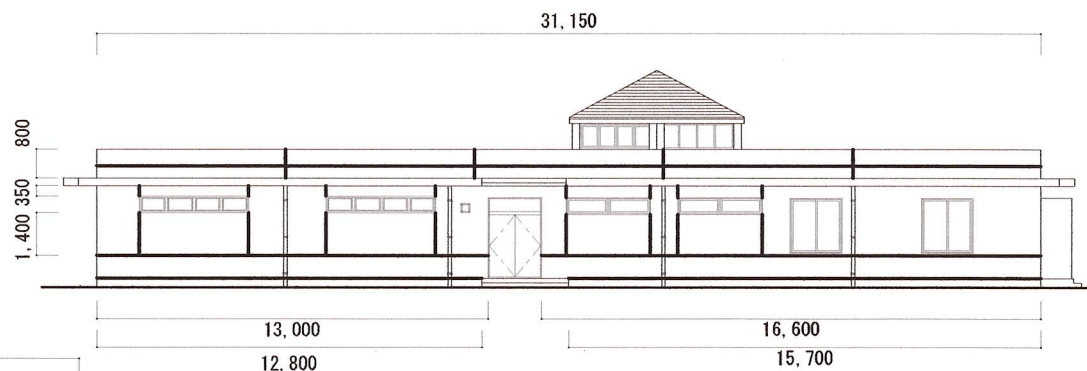


D面立面図 1/300

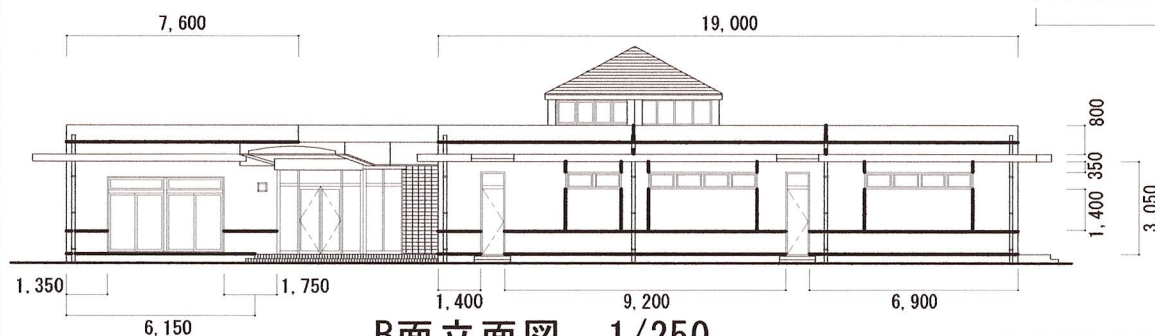
番号	①	②	③
形状	550 3,600 面積1.98㎡	1,750 2,650 面積4.6375㎡	550 2,760 面積1.518㎡
総面積	7.92㎡	9.275㎡	3.036㎡
個数	4	2	2
番号	④	⑤	⑥
形状	1,800 1,700 面積3.06㎡	2,500 3,800 面積9.5㎡	2,700 800 面積2.16㎡
総面積	9.18㎡	19㎡	8.64㎡
個数	3	2	4
番号	⑦	⑧	⑨
形状	550 1,800 面積0.99㎡	700 1,250 面積0.875㎡	600 900 面積0.54㎡
総面積	1.98㎡	0.875㎡	1.08㎡
個数	2	1	2
番号	⑩		⑪
形状	2,500 5,700 面積14.25㎡		1,900 3,400 面積6.46㎡
総面積	14.25㎡		12.92㎡
個数	1		2
番号	⑫		
形状	2,300 1,730 面積3.979㎡		
総面積	3.979㎡		
個数	1		

工事件名	#350建物外壁等補修工事	番号	5/10
航空自衛隊美保基地		作成年月日	令和8年7月2日

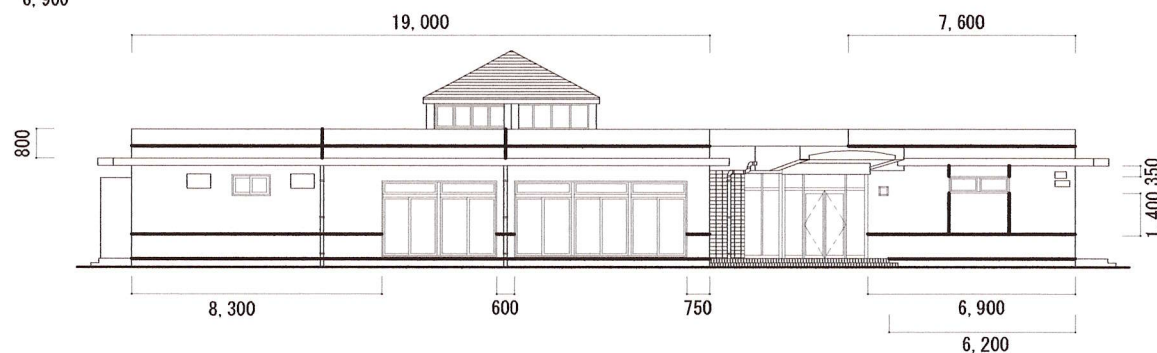
凡例 ——— シーリング補修



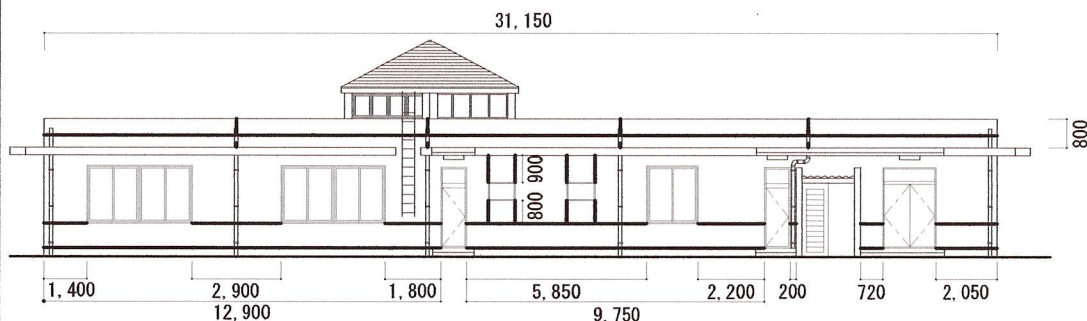
A面立面図 1/250



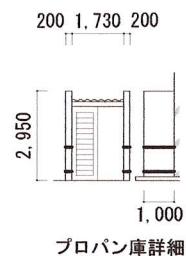
B面立面図 1/250



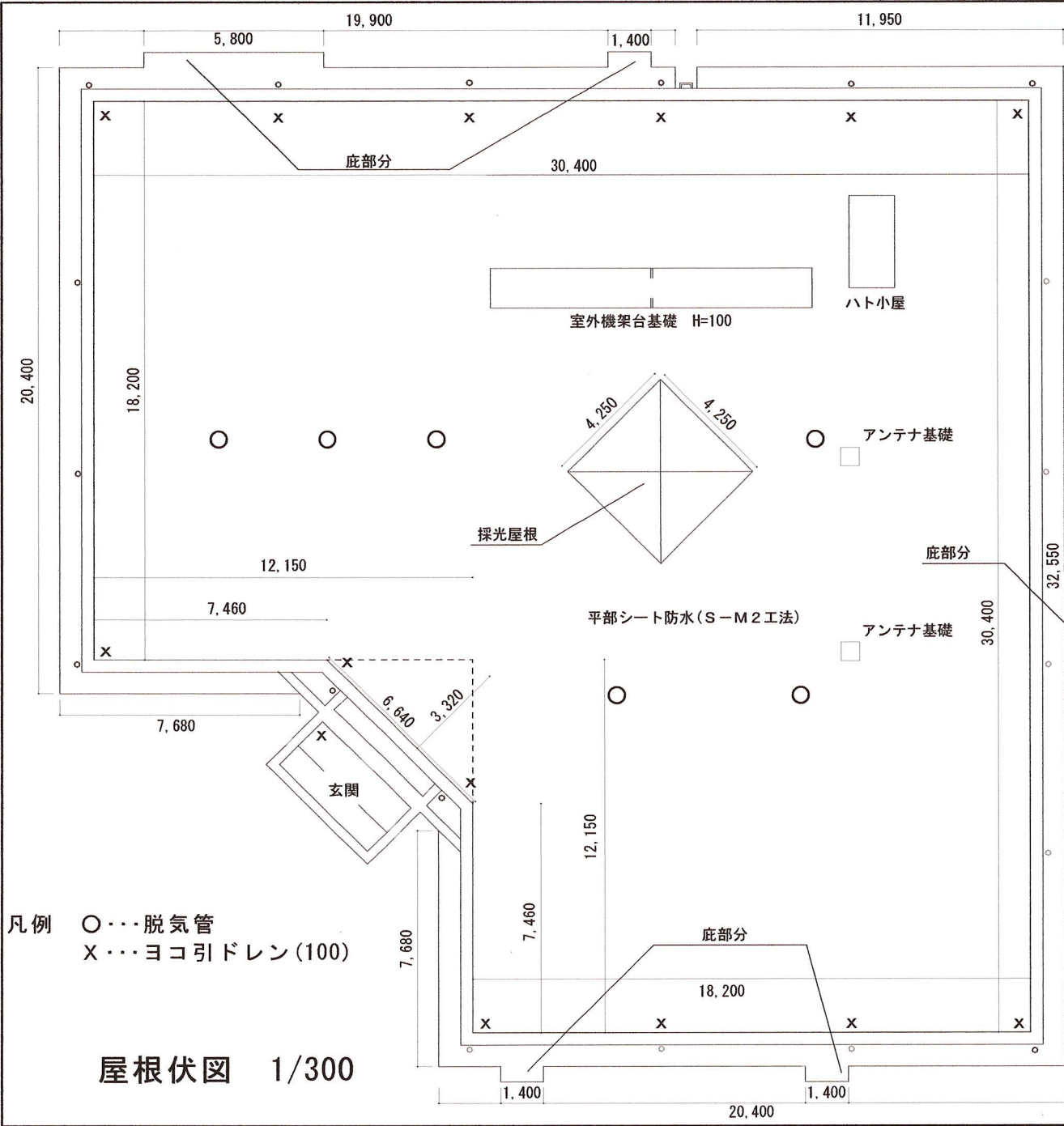
C面立面図 1/250



D面立面図 1/250

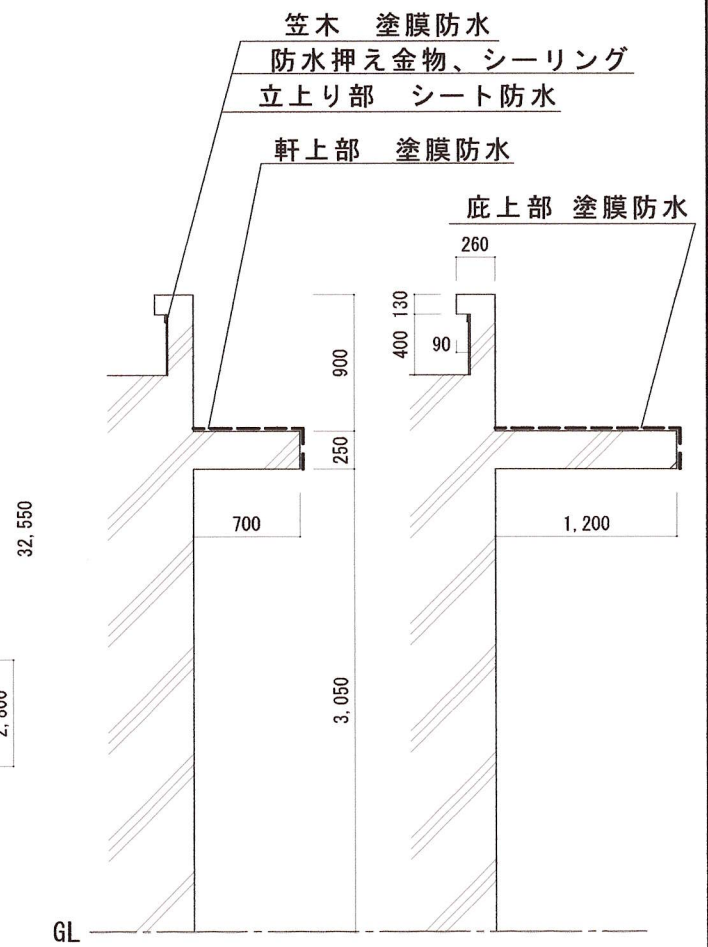


工事件名	# 3 5 0 建物外壁等補修工事	番号	6/10
航空自衛隊美保基地		作成年月日	令和8年7月2日



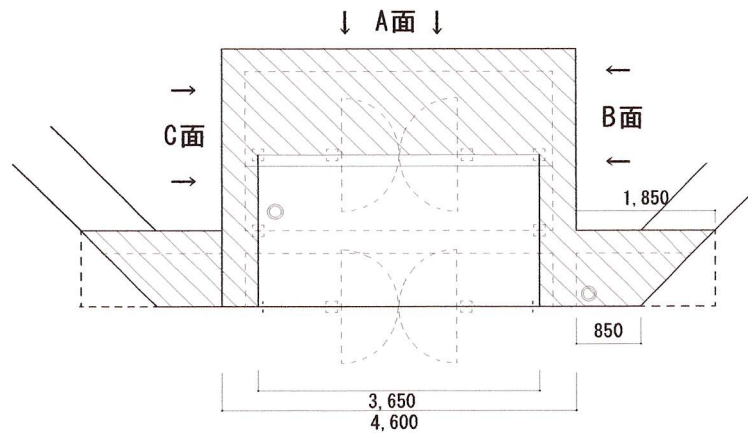
凡例 ○・・・脱気管
X・・・ヨコ引ドレン(100)

屋根伏図 1/300

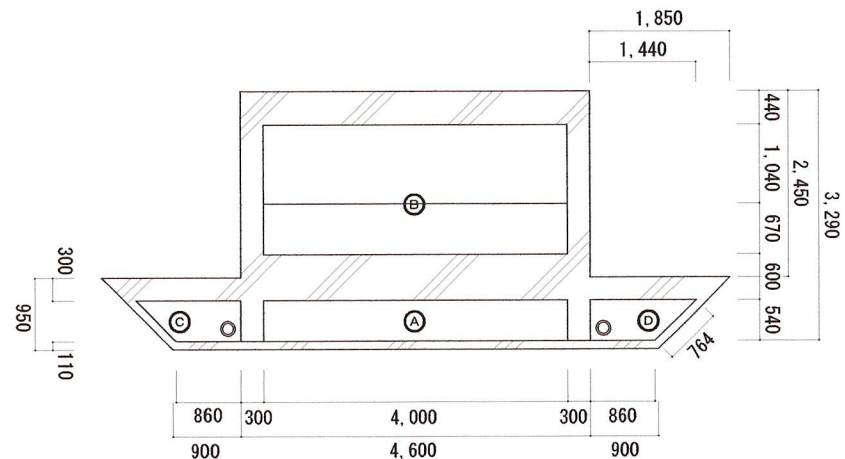


外壁断面図 1/50

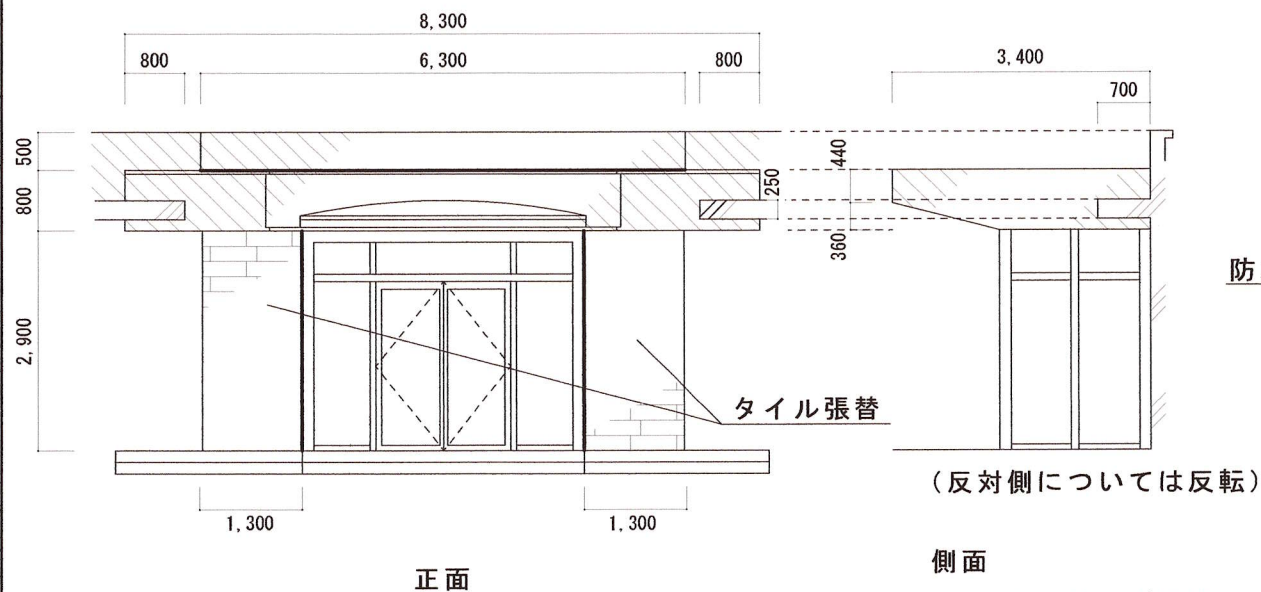
工事件名	#350建物外壁等補修工事	番号	7/10
航空自衛隊美保基地		作成年月日	
		令和8年7月2日	



底下側塗装面積



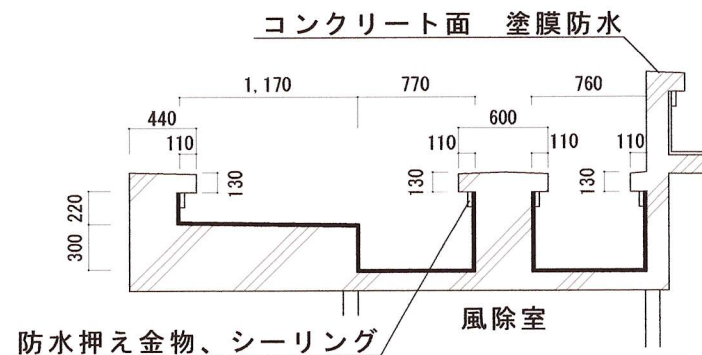
玄関屋根防水詳細図 1/100



玄関詳細図 1/100

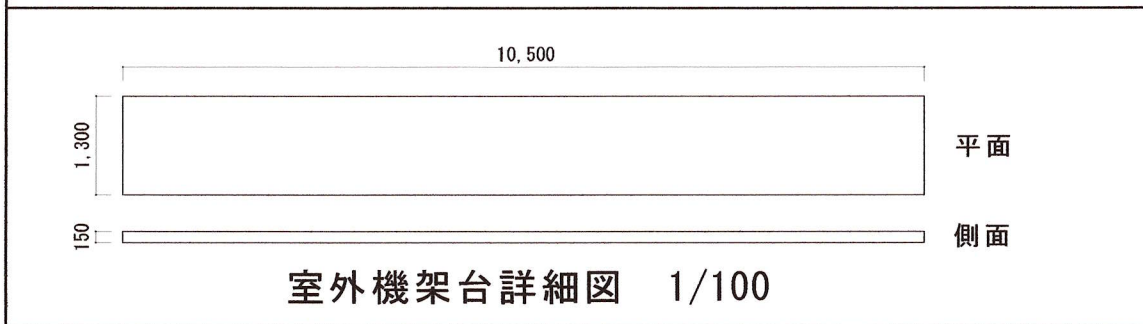
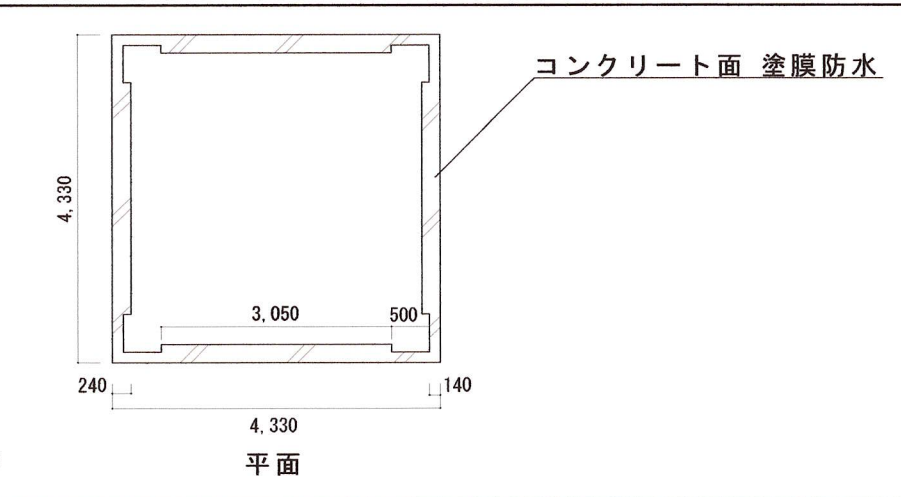
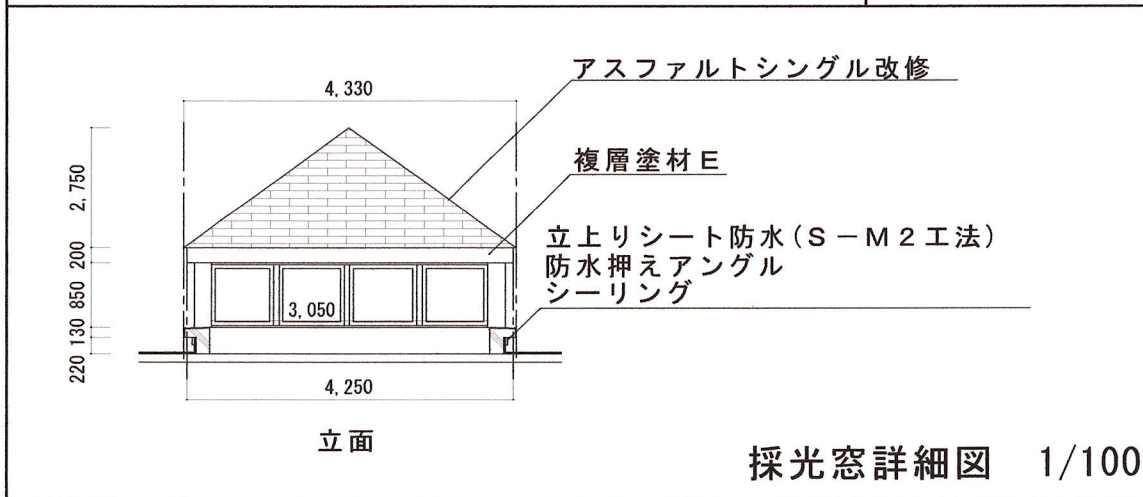
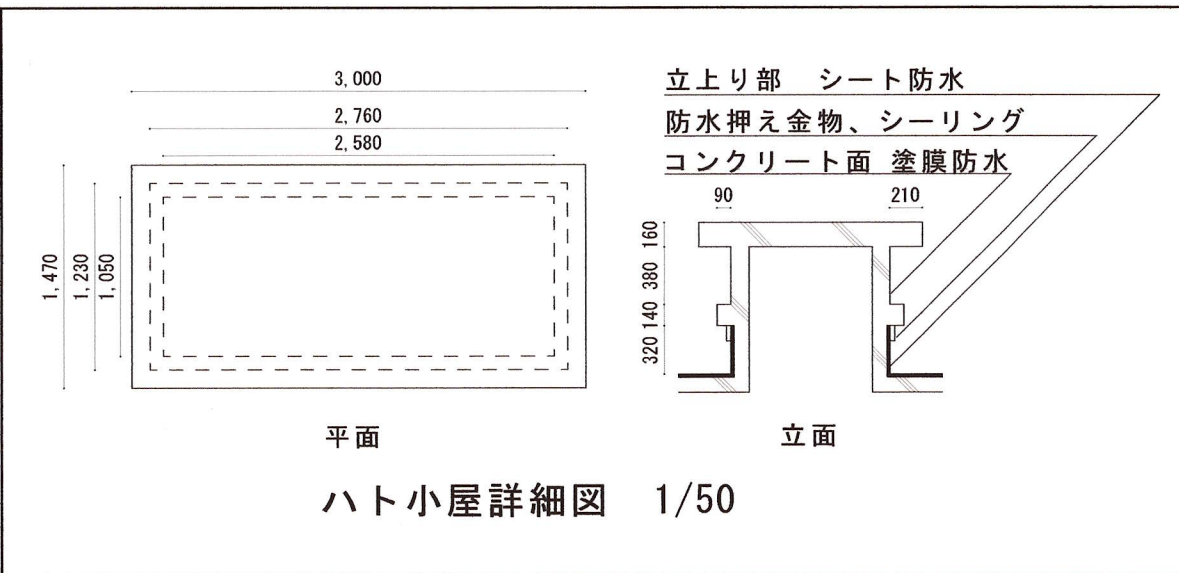
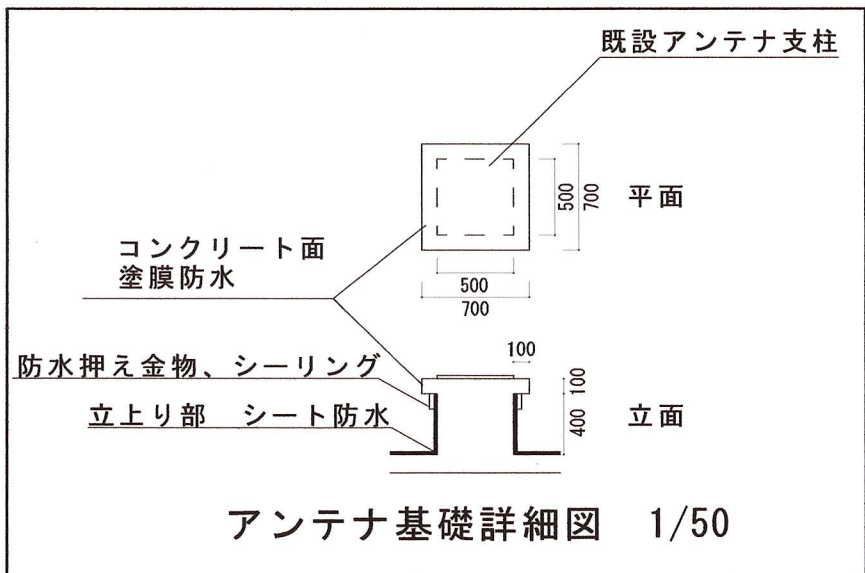
側面

- シーリング補修
- ▨ 塗装面
- ▨ コンクリート面

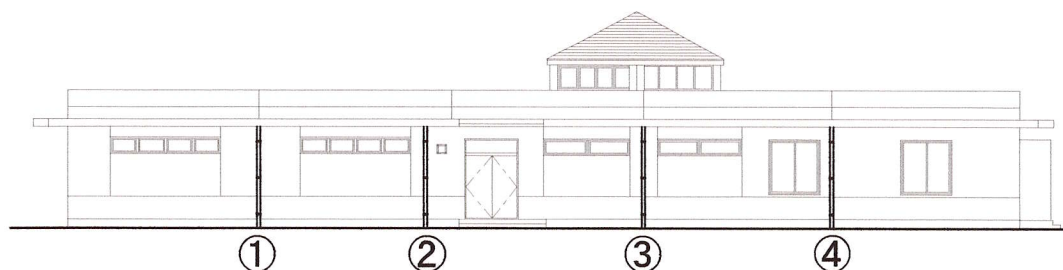


玄関屋根防水詳細図 1/50

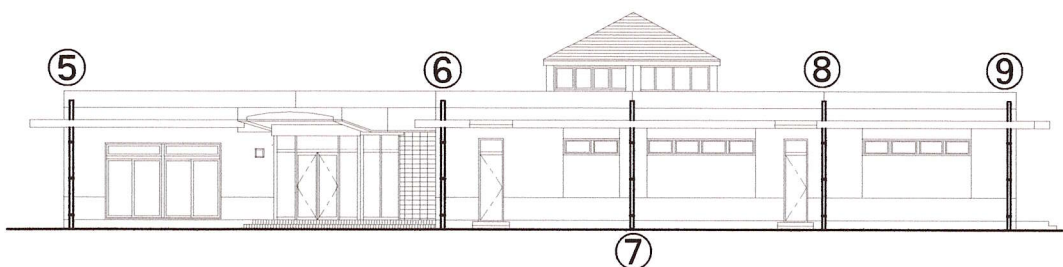
工事件名	#350建物外壁等補修工事	番号	8/10
航空自衛隊美保基地		作成年月日	令和8年7月2日



工事件名	#350建物外壁等補修工事	番号	9/10
航空自衛隊美保基地		作成年月日	令和8年7月2日



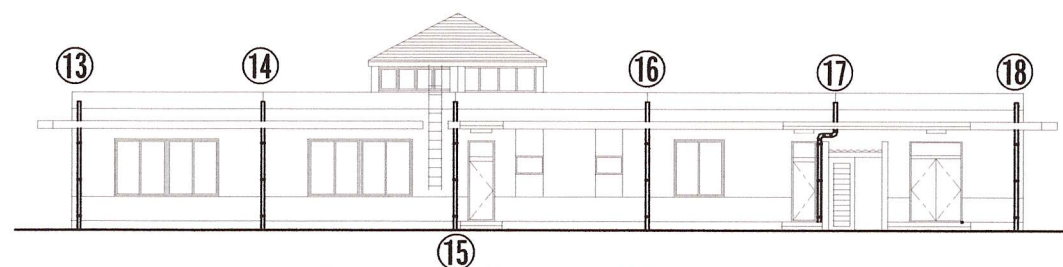
A面立面図 1/250



B面立面図 1/250



C面立面図 1/250



D面立面図 1/250

たてどい塗装 φ100

全 長	番 号
3,400mm	①、②、③、④、⑩、⑪
3,550mm	⑤、⑥、⑦、⑧、⑨、⑬ ⑭、⑮、⑯、⑰
3,000mm	⑫
3,300mm	⑬

工事件名	#350建物外壁等補修工事	番号	10/10
航空自衛隊美保基地		作成年月日	令和8年7月2日